



第61回大島レース 帆走指示書

2011年5月1日

主催： 日本セーリング連盟（JSAF）加盟団体 外洋湘南

運営： 第61回大島レース実行委員会
（葉山マリーナヨットクラブ）

協力： 株式会社 葉山マリーナー

1 適用規則

- * セーリング規則(RRS) 2009-2012
- * 海上衝突予防法
- * JSAF ORC クラブ運用規定 (ORC-club Rule が発行された場合はこれに準拠する)
但し、クルー重量制限は適用しない
- * IRC2011 Rule
但し、IRC ルール 22.4 (クルーナンバーもしくはクルー重量制限) は適用しない。
また、X-35 ワンデザイン証書保有艇には X-35 クラスルール A.6.2 を適用する。
- * JSAF 外洋特別規定 2010-2011 (以下 SR) 【カテゴリー3モノハル V1.5】
(但し 3.29.1 項【船舶用無線送受信器の搭載義務】は適用しない。)
- * 第61回大島レース レース公示
- * 第61回大島レース 帆走指示書
ただし これらの規則等が矛盾する場合は本帆走指示書を優先する。

2 競技者への通告

競技者への通告は、2011年5月28日(土)08:00より、葉山マリーナーハーバー事務所2F内に設けられたレース本部公式掲示板にて行う。実行委員会は、公式掲示板に掲載される以前に大島レース実行委員会ホームページに掲載する。(URL <http://blog.goo.ne.jp/oshima-rc/>)
これは、あくまでサービスであり、抗議、救済の要求の対象とはならない。

3 帆走指示書の変更

- 3-1 帆走指示書の変更は2011年5月28日(土)09:00までに公式掲示板に掲示される。
変更があった時点でサービスとして大島実行委員会ホームページに掲載される。
- 3-2 帆走指示書の変更は海上で口頭により行うことが出来る。

4 陸上で発する信号

レース運営に関する信号は陸上では発しない。

5 レースの日程

- 2011年5月28日(土) 10時55分 予告信号
- 2011年5月29日(日) 16時00分 タイムリミット

6 レースの成立

タイムリミット内に1艇でもフィニッシュした場合に、レースは成立する。

7 クラス旗 及び レース旗

- 8-1 参加艇が掲げるクラス別の識別旗は、特にこれを定めない。
- 8-2 各艇はレース中、レース旗を掲揚していなければならない。
レース旗は上からJSAFバージ(小)、外洋レース旗の順に掲揚していること。
- 8-3 このレース旗は自艇がチェックインを受ける時点からレース終了時まで掲揚していなければならない。レース旗の下端はデッキより1.5 m以上の高さで掲揚する。

8 コース

葉山沖 → 初島(反時計廻り) → 大島(反時計廻り) → 葉山沖(フィニッシュ)
距離 85マイル(成績算出に使用する)

9 マーク

スタート時にポートの端にあるマーク(アウターマーク)は黄色の円筒形ブイ。
フィニッシュ時にポートの端にあるマーク(アウターマーク)は黄色の円筒形ブイ。
尚、夜間はこのブイ上部にストロボをセットし明滅させる。

10 スタート

- 10-1 RRS26を用いて、予告信号をスタート信号前の5分とし、スタートさせる
- 10-2 予告信号旗はSORC大バージを使用する。
- 10-5 スタートラインはスターボードの端にあるスタートマーク（本部船）上にJSAF大旗を掲揚しているポール（マスト）とポートの端のスタートマークの間とする。
- 10-6 参加艇はスタート予告信号10分前までに、J S A F大旗とL旗を掲揚している本部船の船尾をスターボードタックで通過し、艇名、セールナンバー、乗員数を本部船に伝え出走の確認を受け（チェックイン）、同時に本帆走指示書18-1に定める動作をしなければならない。
- 10-7 スタート信号の30分より後にスタートする艇は「スタートしなかった」と記録される。（RRS A4の変更）

11 フィニッシュ

フィニッシュラインはフィニッシュマーク上にJSAF大旗を掲揚している本部船のポール（マスト）とポートの端のフィニッシュマークとの間とする。
本部船のおおよその錨泊位置は 35° 16.71' N , 139° 33.79' E
(葉山新港の赤灯を70度(MAG)、距離約900mに見る位置)
日没後は本部船のマストに “赤色灯縦2つ” を点灯する。

- 11-1 夜間のフィニッシュは本部艇に向けてA符号（・ー）を連送してフィニッシュの予告をすること。
- 11-2 夜間のフィニッシュはフィニッシュ時に自艇のセールをライトで照射し本部船がセール番号の確認をし易い様にする。
- 11-3 フィニッシュ後に本部船に口頭で自艇の艇名とセール番号を申告すること。
- 11-4 荒天の為、本部船が出航できない場合、或いは錨泊できない場合は、フィニッシュラインを葉山マリーナー2F会議室外にJSAF大旗を掲揚したポールと江ノ島灯台との重視線上に設置されたフィニッシュマークの間とする。

12 レースの中止

荒天等の理由でレースの中止をする場合は2011年5月28日08:00の時点でレース委員会が判断する。告知は公式掲示板に掲示する。参加艇にはレース委員会から可能な限り連絡を取るがこれはサービスである。

13 ペナルティーの方式

RRS 2章（航路権）の以外の違反に対しては失格に替わる罰則を次のように定める。

- 13-1 スタート時 OCSと記録された艇には失格に替わる罰則として10%のタイムペナルティーを課す。（RRS A4の変更）
- 13-2 乗員及び艇の安全に関わる場合は、エンジンの使用を認める。（RRS42.3(h)の適用）
この場合、当該艇はフィニッシュ後、レース委員会にできるだけ速やかに書面で、エンジンを使用した理由、日時 使用した時間等の状況を報告しなければならない。
- 13-3 定められた通信を行わなかった場合は20%のタイムペナルティーを課す。
- 13-4 帰着申告の提出が正当な理由なくして遅れた場合は20%の順位ペナルティーを課す。
- 13-5 RRS 第2章の除く軽微な違反に対して、プロテスト委員会の裁量で0~15%の順位ペナルティーを課すことができる。

14 タイムリミット

2011年5月29日（日） 16:00 （RRS35の変更）

15 帰着申告

- 15-1 レース艇はフィニッシュ後2時間以内にレース報告書並びに航跡図に必要事項を記載した帰着申告書をレース本部に提出しなければならない。フィニッシュした後に本部船に提出して

も構わない。

- 15-2 ハンディGPSで航跡を記録した場合、航跡図は同GPSの提出を条件に21-3で規定する回航時刻を記載するのみで可とする。同GPSは表彰式の際に返却する。
尚ハンディGPSは以下の条件を満たすものとする。
- ・ ガーミン社製GPSで、軌跡ポイント(Track log)2048以上の機種で、インターフェースが USB のもの。(尚、データのオーバーフローを避けるため航跡ポイントの取得間隔は1分程度に設定して下さい。)

16 抗議と救済の要求

- 16-1 レース中に発生したケースに対し、抗議の意思がある場合にはフィニッシュ時に本部船にその旨を伝えなければならない(RRS61.1の変更)。
- 16-2 抗議の締め切り時間は自艇のフィニッシュ後2時間以内とする。
- 16-3 抗議に関わる事項は抗議締め切り時刻後1時間以内に公式掲示板により通告する。また各艇へ電話で連絡するがこれはサービスである。
- 16-4 抗議書の提出はeメールまたはFAXに代えることが出来る。FAXの場合、宛先を「葉山マリーナ(株)ハーバー事務所気付 HMYC大島レース本部宛」とされたい。FAX番号は0468-76-1146である。またEメール送付先はoshima-rc@mail.goo.ne.jpである。
- 16-5 本帆走指示書9、15、16、17、18、20、21項 については艇からの抗議、救済の要求の根拠にはならない。(RRS60.1の変更)

17 安全に関するレース艇の遵守事項

- 17-1 JSAF外洋特別規定(JSAF-OSR)2010—2011【カテゴリー3モノハルV1.5】から【3.29.1 船舶用無線搭載義務】の項を除いた規定以上の要件を満たしていること。
- 17-2 艇とレースコミッティー間の通信手段は携帯電話を使用する。従って下記の条件を満たした携帯電話2台以上を搭載していること。
- 【バッテリー】艇のバッテリー又はその他の方法で充電出来ること。もしくは予備バッテリーを持っていること。
 - 【防水ケース】専用の水密ケースに入れた状態で送受信が可能なこと。
- 17-3 レース艇はやむを得ない場合を除いて、本レース中ライフジャケットを着用していなければならない。(RRS40の変更)
- 17-4 参加艇はJSAF-OSR 4.04 ジャックステーについて、チェックイン時からフィニッシュするまで単に搭載することだけでなく、直ちに使えるように艀装していなければならない。
- 17-5 無線通信に関してはRRS41(外部の援助)を遵守のこと。
- 17-6 出艇申告後にスタートをしなかった艇及び途中、レースを棄権した艇は直ちにレース本部まで連絡しなければならない。その連絡は艇の責任者が行き、第三者に伝言を託してはならない。

18 乗員、装備及び計測のチェック (インスペクション)

- 18-1 艇は本帆走指示書10-6に定めるチェックイン時にライフジャケットの着用とハーネスの携帯の確認を受けること。
- 18-2 レース委員会は、レースの公平を保持、安全を確保する為に、レース前の艇が本帆走指示書10-6で定めるチェックイン完了後からレース終了のフィニッシュ直後までの間、全艇又は任意に抽出した艇に対して、随時にインスペクションを実施することができる。

19 乗員の変更

- 申告書に記載された乗員の変更は、下記時間内に書面(フックス)で行うこと。
申込み時~5月27日 22時迄 : FAX 045-712-4384(飯沢自宅)
5月27日 22時以降~出港時 : 本部船に書面で行うこと。

20 支援艇

いかなる支援艇及び支援要員も予告信号以降、レース終了又は延期、中止となるまで全てのレース

艇に近づくことを禁止する。 又、運営に支障をきたす行為も禁止する。
違反した場合は支援艇に関連した艇が抗議の対象となる。

2 1 ロールコール

- 21-1 定められた時刻に**参加艇はレース本部に向けて連絡(ロールコール)**をしなければならない。
その時刻は、18:00、24:00、06:00、12:00 である。
- 21-2 参加艇はフィニッシュ1時間前コールをレース本部に連絡しなければならない。
- 21-3 コールの内容は自艇の位置、艇及び乗員の状況、海況等(運用マニュアル参照)
レース本部 電話番号 主: 090-3687-3420
副:
- 21-4 (回航時刻の通告) 参加艇は初島西岸の「初島フィッシャリーナ」を方位90度に見たとき、および「大島竜王崎灯台」を方位0度に見たときの時刻を、そのつど出来る限り速やかにレース本部に通告しなければならない。

2 2 順位 成績

- 22-1 ORCクラブ; パフォーマンスラインシステム(PL OFFSHORE)により修正秒(CT)を算出する。
IRCクラスはタイムオンタイムにより修正秒(CT)を算出する。
- 22-2 CTで同順位の艇が存在する場合はレーティングの低い艇を上位とする。
- 22-3 ORCクラブの成績算出は、DAの係数を1、エージアローワンスの係数を1とする。

2 3 賞

賞は次の通り用意される。

- ・ 大島レース杯はORCクラブクラス1位の艇に。
- ・ 各クラスの1位、2位 3位の艇には順位賞を。
- ・ ファーストホーム賞。
- ・ その他 主催団体の意を汲み、実行委員会が後日定める特別賞。

2 4 表彰式

2011年5月29日(日) 夕刻より葉山マリーナヨットクラブ クラブハウスで行う。
時刻等の詳細は別途通知する。

2 4 責任の否認

参加艇、及び参加者は完全に自らのリスク(参加するか否か、スタートするか否か、レースを続行するか否か等、レースに関係する全ての局面におけるものを含む)で本レースに参加する。RRS規則4(レースをすることの決定)を参照のこと。

そして、主催団体であるJ S A F加盟団体 外洋湘南 並びに第61回大島レース実行委員会はレース艇が引き起こした大会の前後、期間中に生じた直接・間接を含む物理的損害または身体障害に対して、いかなる責任も負わない。

2 5 保険

賠償責任保険、搭乗者傷害保険(全乗員分)、捜索救助費用保険に加入していなければならない。

2 6 実行委員会、レース委員会、プロテスト委員会

レース委員長	榎本 裕
プロテスト委員長	榛葉 克也
実行委員長	飯沢 則之

運用マニュアル

艇の安全とレース運営を円滑に進める為に帆走指示書とは別に、次の通り『大島レース運用マニュアル』を設ける。

マニュアル1： 通信

(携帯電話による通信方法、時間はすべてJST)

目的	時刻・時間	接続方法	通話・報告内容と通信例	その他
ラジオ チェック	10:00 ～ 10:50	本部から ↓ 各艇へ 携帯電話	[本部] ① [艇名]、受信状況は いかがですか? [レース艇] ② [艇名]です。明瞭に受信 できます。	携帯電話の接続性、通話感度、 明瞭度等の確認を行う。 *呼出方法 レース委員会が各艇を順次呼び だす。 二回のリダイヤルで接続不可の 場合、申告された2台目の携帯 電話に接続を試みる。
定時ロール コール	携帯電話 18:00 24:00 06:00 12:00	各艇から ↓ 本部へ 携帯電話	[レース艇] ① 位置(経度、緯度) ② 風向 ③ 風速 ④ 波高 ⑤ 艇速 ⑥ 乗員の状況	*呼出方法 各艇はレース本部を呼び出す。 二回のリダイヤルで接続出来な い場合はレース本部の「副」携 帯電話に接続を試みる。
廻航時刻の 通告	携帯電話 帆走指示書 21-3項によ る初島、大島 廻航後	各艇から ↓ 本部へ 携帯電話	[レース艇] ① 廻航時刻 ② 風向 ③ 風速 ④ 波高 ⑤ 艇速 ⑥ 乗員の状況	*呼出方法 定時ロールコールと同様。
レース中の 非常時通報	随時	各艇から ↓ 本部携帯電話	① 艇名 ② 位置(緯度・経度) ③ 連絡内容、気象・ 海象・艇・乗員の状況	VHF、携帯電話ともに同運用手 順とする。 視認できる艇、船舶があれば本 部に連絡する。
		本部⇒各艇	確認、依頼	各艇に常時通信が可能となる指 示をする場合もある。
フィニッシュ の予告	予定のおおよ そ1時間前	当該艇 ⇒本部 携帯電話	① 自艇名 ② フィニッシュまで xxマイル ③ 艇速xxノット ④ 残航程xxマイル ⑤ フィニッシュ予定時刻 ⑥ 通信終わり	携帯電話にて連絡をとる。

本表に記載の通信により聴取した参加艇の情報は、大島レース実行委員会ホームページに随時掲載を予定している。
大島レース実行委員会ホームページ URL <http://blog.goo.ne.jp/oshima-rc/>

マニュアル2： レース中のVHF、携帯電話の状態

事故防止、捜索協力等のためにVHF、携帯電話で以下の事を要望する。

VHF：

- (1) スタート1時間前よりフィニッシュ1時間後まで、海上保安庁他の各種警報などの入手の為、16chを聴取常時受信可能な状態にしておくことを推奨する。
- (2) 毎時05分から、71chの聴取と相模湾海域の気象通報の聴取に極力努めること。
(マリンVHF相模湾センター88ch 09:00-17:00、毎時0分から国際VHFで聴取可能)
- (3) 本部と直接通信が出来ない場合は他艇に中継を依頼し、通信の確保に努力すること。
また、依頼された艇は中継に協力すること。
- (4) 16chは呼び出しチャンネルであるため通話は船間波に変波して行うこと。

携帯電話：

スタート1時間前より、フィニッシュ1時間後まで常時通信可能な状態にしておくこと。

マニュアル3： ロールコールの追加

レース委員会は、本部より本帆走指示書21項に記載されたロールコール時刻に加えて、以下の全て、又は、その一部の時刻を追加する場合がある。追加のロールコールはレース本部より発する。

追加ロールコール時刻：15:00、21:00、03:00、09:00

マニュアル4： その他 注意事項

- * 1 竜王崎灯台北東に漁網が設置されている場合がある。
- * 2 本帆走指示書 『18. 乗員の変更』では、変更届の時間的な幅を持たしてある故、安易に考えることなく、これを遵守すること。

以上